

労福協 NEWS

2013.9 No.65



「親子サマーフェスタ」 開催される

第3回



うだるような残暑が続く夏休みの一日。8月18日、ヒューマンわーくびあ徳島にて第3回親子サマーフェスタが開催されました。「仕事と生活の調和」「家族の大切さ」をテーマに、労働福祉事業団体、NPO・ボランティア団体などの協力のもと様々なイベントが行われ、親子連れなど約250名が参加しました。

風船匠じょにいさんは第1回からの連続出演。手練妙技の風船作りに子ども達は大喜びでした。親子木工教室は一番の人気コーナー。親切なスタッフの指導のもと、親と子の共同作業で木箱やラックなどを作りました。その他、プロカメラマンによる写真撮影会、おもちゃ病院、フリーマーケットなどが各階で行われました。3時間という短い時間でしたが、いつまでも子ども達の歓声に包まれながら閉演しました。

わたしの 「夏休みの思い出(絵画)」 大募集!!

- ①幼児の部 ②小学校低学年の部
③小学校高学年の部

[応募締切] 9月27日(金)

応募者のうち先着50名様に

図書カードをプレゼント!!

■作品は四国労働金庫徳島支店、
全労済徳島県本部に展示します。

[送付先・お問合せ] 下記事務局まで



昨年度の応募作品より

《主な出演・出展団体》

- バルーンショー 風船匠じょにいさん
- 親子の無料撮影会 サークル出張スタジオ徳島
- 子供服つめ放題 リサイクルショップ a・ya
- 親子木工教室 フレッセ
- 親子陶芸教室 だいやま陶芸村
- おもちゃ病院 おもちゃ病院徳島支部
- 絵手紙 福井和子さん 梶浦洋一さん
- うちわ作り ストップDV・サポートの会
- フリーマーケット

ほか

労 福 協

若者サポートステーション

一人で悩んでいるあなたへ

まずは「相談」から始めてみませんか？

若者の巣立ちをバックアップします！！

若者自立支援セミナー開催！！



徳島県労働者福祉協議会が運営するとくしま・あわ両地域若者サポートステーション（以下サポステ）の広報の一環として、6月26日、徳島市の阿波観光ホテルにおいて、青年社会学の第一人者であり現在、放送大学で教鞭を執られている宮本みち子教授をお招きし、

「若者が自立できる環境をどう作るか」と題し、若者自立支援セミナーを開催しました。

今年度より、地域の学校と連携を構築し、学校からの切れ目のない支援を行うことを目的としたサポステ学校連携推進事業が開始し、教育機関や各支援機関へのサポステ事業の周知を図るため、本講演を実施しました。

セミナー当日はあいにくの天候でしたが、教育機関や行政、社会福祉関係者など約150名の方々にお集まりいただき、盛況のうちに終了できました。

「地域若者サポートステーション事業」とは、厚生労働省と地方自治体が協働し、働くことに悩みを抱えるニートなどの若者の職業的自立を目指し包括的に支援する事業です。若者支援の実績やノウハウを持つ地域のNPO法人などが受託し、徳島県では当協議会が県内2箇所のサ

ポートステーションを運営しており、キャリア・コンサルタントや臨床心理士などによる専門的な相談や、協力企業による就労体験など、多様な支援策を提供しています。



講演で宮本教授は、「地域若者サポートステーション」の取り組みを紹介したうえで「高校中退者が支援を必要とする傾向が非常に強い。安定した仕事に就きにくい層になっていると分析。サポステ事業で就労支援を受け始めるのは高校中退から5年以上経ってからが多く、「引きこもりを経験した人や不安定雇用で挫折した人が多い。中退後すぐに支援を始めたほうが効果的で、学校現場とサポートステーションとの連携が重要である」と論じられました。

誰もが将来に希望が持てる社会であるためには、再チャレンジの仕組みやセーフティーネット機能の充実が急がれますが、幼少期や学齢期に抱えた課題を解決できないままに若者世代となり、就労という場面で立ち止まる若者も少なくありません。仮にサポステ本体事業を「川下の支援」とするならば、そこに至る過程で抱えたリスクを最小限にするため、教育段階での課題に取り組む学校連携推進事業はニート化予防のための「川上の支援」と位置づけられるといえます。

中退後、ひきこもりや不安定な就労の期間が長引けば、本人の社会的、経済的な自立が損なわれるだけでなく、経済成長、社会保障制度の支え手となることができず、将来生活保護に陥るリスクなどもあり、社会にとっても大きな損失を招くこととなります。貧困の連鎖を防止す



るという観点からもサポステ学校連携推進事業の重要性をあらためて認識することとなりました。

人口動態から見ても、今後、日本社会を支える人口は減るばかりです。さらに、現在支える側にいる人口もやがては支えられる側の年齢となります。もし私たちが、困難や問題を抱え、働くこと、働き続けることができない若者を自己責任論や感情論で排除するのであれば、将来にわたって増加する社会コストは私たち自身に降りかかってきます。

しかし、困難を抱える若者への支援が地域に根ざしていけば、私たちの将来に対する不安を期待に変えることができるのではないのでしょうか。若者を支援することは社会投資であり、日本社会を形作るものだ信じて、今後も地域若者サポートステーション事業に取り組んでまいりたいと思います。



若者支援 ジョブスタとくしま

週4日、若年者の自立支援講座を開講しています。

◇事業内容及び取り組み

「若者支援ジョブスタとくしま」は、平成22年5月21日にヒューマンわーくぴあ1階に開設され、今年度で3年目を迎えました。原則15歳～概ね39歳の就労に悩みを抱える若者を対象に、週4日(月～金、水曜日は休み)、1講座2時間で午前と午後の2回の就労自立支援講座を行っています。定員は原則5名の少人数で行われており、初めての方でも安心して講座に参加できるように工夫されています。

講座の大きな柱は、就労支援講座や資格準備講座、“のんびり茶屋”などです。講座の使用方法は、利用者が多彩な講座の中から、スタッフとともに必要な講座を選択して参加しています。ジョブスタとくしまでは毎日、多様な講座が行われることによって、利用者の興味に合わせて講座を選択しやすくなっています。



職業人講話 講座風景

今年度の講座では、外部講師を積極的に招き、利用者がこれまでに会ったことのない様々な職種の方との出会いを通じて、新しい知識や体験談に触れる機会を提供しています。

6月には職業人講話として、シネマサンシャイン北島の広報担当者をお招きし、仕事の面白さや大変さ、映画館の仕事の裏話、やりがい等、利用者の今後にプラスになるような有意義な話を聞くことが出来ました。

また、2年目を迎えたのんびり茶屋では、調理班と接客班の2班に分かれて飲食店の仕事を体験するようにしています。お客様も毎回、30名程度が来店されています。食事に来ていただいたお客様から生の声やアンケート等のフィードバックを直接得られることが、利用者にとっての自信につながっているようです。また、のんびり茶屋以外にも、職場実習やボランティア等を通じて様々な施設との連携を行うことで、幅広い体験の提供、連携先の確保に繋がっています。



のんびり茶屋 調理風景

今後も、ジョブスタとくしまでは、利用者の課題の整理を行いながら幅広い支援を考え、他機関や地域との連携をさらに深めながら柔軟で幅広い支援を行っていかうと考えております。

連 合

“平和への願いをこめて” 平和行動in広島



連合徳島の平和運動として「戦争を否定し、平和を創造する役割を果たせるのは私たちなの

だということを自覚し、平和をつくることの証し」として、徳島大空襲の取り組み、平和の折鶴県民運動に今年も5月から取り組みを進めてきた。

そして、各連合構成組織・地協・小学校等で「平和への願いをこめて」一羽一羽折った平和の折鶴7万羽を集約し、8月4日～6日の3日間、「2013平和行動in広島」に代表団25人(内、子ども2人)が、「平和広島集会」や「平和祈念式典」等に参加し、折鶴も「平和広島集会」や「原爆の子の像」等に献げてきた。

まず最初に代表団25人は、8月4日午前7時30分に徳島を貸し切りバスで出発し、4日、14時30分過ぎから、1945年の敗戦まで毒ガスを製造し、秘密の島として日本地図からも消されていた大久野島を訪問。島内の毒ガス製造にかかわる遺跡や毒ガス資料館等を見学した。

5日は、連合広島の青年・女性委員会のメンバーによるピースガイドの案内により、平和公園内の慰霊碑等の由来や当時の背景について説明を受けた。ピースウォーク終了後、広島平和記念資料館を見学。当時の映像や写真、炭火した衣類や遺品等を見て、改めて核兵器廃絶と世界の恒久平和への思いを参加者全員で誓い合った。夕刻には「平和広島集会」に参加。集会では、連合本部・南雲事務局長が「世界には約2万の核兵器がいまだに存在していると言われて

会議など、あらゆる団体と連携し、核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現に向け取り組んでいく」とあいさつし、折鶴献納セレモニーも行われ、代表団も献納した。

広島原爆の日の6日は、広島市平和祈念公園での平和祈念式典(広島市主催)に参加。大会冒頭、政府代表者や広島県・市の代表が原爆により亡くなられた方への冥福を祈り、献花セレモニーが行われ、代表団も献花を行った。

式典では、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に全力を尽くすとする平和宣言が発表され、被爆地の二人の子ども代表が「平和とは安心して生活できること。一人ひとりが輝いていること。みんなが幸せを感じることに。平和は私たちが作り出すものであり、方法は違っていてもいい。大切なのは一人ひとりの行動である」とした「平和の誓い」も発表された。

式典終了後、一路徳島まで。「戦争の悲惨さや平和の大切さを改めて認識するとともに、それぞれの職場や地域で平和運動を一層強化していく」ことを参加者全員で確認し、平和行動in広島を終了した。



ろうきん

働きざかりにWの安心!!

ろうきん 3大疾病・障がい

特約付

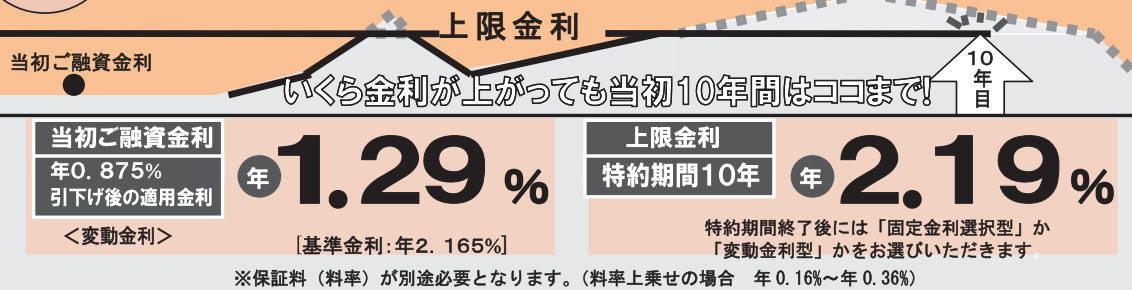
うれしい発見!!

キャップローン

受付期間 2013年4月1日(受付分)～2014年3月31日(受付分)

金利の安心

ろうきんはダブルで安心! 上限金利特約付住宅ローン「キャップローン」



3つの保障がセット!

保障の安心

死亡・高度障がい

3大疾病

障がい特約



大きな安心!

保険金により

ローン残高が0円!

※連帯して債務を負われる方は、付保割合に応じた保険金額となります。

※保険金が支払われる場合であっても、利息の一部等をご負担いただく場合があります。

商品概要・ご利用条件等

●融資商品	◇ろうきん3大疾病・障がい特約付「キャップローン」(上限金利特約期間10年)	●手数料	◇特約期間中の繰上返済時には当金庫所定の手数料が必要です。勤労者互助会の方の場合、融資実行の際に10,500円融資手数料が必要です。
●ご利用いただける方	◇融資実行時の年齢が満20歳以上満51歳未満の方で、最終ご返済時の年齢が70歳未満の方。 ◇ろうきん3大疾病保障特約・障がい特約付団体信用生命保険への加入を生命保険会社が事前に承諾した方。 ◇当金庫の指定する保証機関の保証を受けられる方。	●保証(保証機関)	◇(一社)日本労働者信用基金協会の保証 別途保証料率年0.16%～年0.36%を融資金利に上乘せ、または前払いの場合は所定の保証料を一括でお支払いいただきます。
●お使いみち	◇ご本人(ご両親・お子様を含む)の居住に供する住宅関連資金(新築、増改築、改修、他金融機関住宅ローンの借換え等)	●保証人	◇個人連帯保証人が必要な場合があります。
●ご利用限度額	◇最高6千万円	●団体信用生命保険	◇3大疾病保障特約・障がい特約付団体信用生命保険にご加入いただきます。保険料の別途負担はございません。保障内容等、くわしくは窓口へご相談ください。
●ご返済期間	◇最長35年 ※保険期間と同一で、最終ご返済時の年齢が満70歳未満までの期間となります。	●火災保険	◇別途、ご本人様のご負担でご加入が必要です。
●金利タイプ	◇変動金利 ※上記の金利は基準金利に基づき、金利プランによる最大引下げを行った後の適用金利です。 ◇上限金利特約期間 10年		
●ご返済方法(元利均等)	◇毎月返済または毎月返済とボーナス返済の併用		
●担保	◇ご融資対象物件(土地・建物)に原則として、第一順位の抵当権を設定させていただきます。		

※審査の結果、ご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。

※基準金利は毎月見直しがあり、金融情勢等により、基準金利の見直しを実施することがあり、その場合は記載の金利で借入ができないことがあります。くわしくはお近くのろうきんへご相談ください。

※窓口の説明書をご用意しております。

ずっと続く

R 四国ろうきん

<http://www.shikoku-rokin.or.jp>

ホームページでご返済の試算ができます。

<徳島地区営業店のご案内>

徳島支店 088-623-1111

徳島北支店 088-698-1111

阿南支店 0884-22-2132

徳島ローンセンター 088-634-1000

池田支店 0883-72-0399

徳島北ローンセンター 088-698-1112

鴨島支店 0883-24-3113

2013年9月1日現在 761-2013-008



全 労 済

「 徳島県共済
生活協同組合

第 58 回 通常総代会」

開催報告

「 全労済徳島県本部 第 4 回 代表者会議」

2013年7月30日(火)に、徳島グランヴィリオホテルにて徳島県共済生活協同組合第58回通常総代会ならびに全労済徳島県本部第4回県本部代表者会議を開催しました。

各選挙区から選出された総代が出席する中、全ての議案が承認・決定され、盛会のうちに終了しました。



徳島県共済生活協同組合 第 58 回通常総代会

● 議案審議事項

- 第1号議案 2012年度事業報告および決算報告承認の件
- 第2号議案 2012年度剰余金処分(案)承認の件
- 第3号議案 2013年度事業計画および予算設定の件
- 第4号議案 2013年度役員報酬額設定および役員退任慰労金支給承認の件
- 第5号議案 役員選挙の件
- 第6号議案 振替増資承認の件
- 第7号議案 全労済総会の議案審議の件
- 第8号議案 全労済総会代議員選出の件
- 第9号議案 議案決議効力発生の件

全労済徳島県本部 第 4 回県本部代表者会議

● 議事次第

1. 2012年度事業報告および決算報告について
2. 2013年度事業計画および予算について
 - (1)2013年度活動方針(案)
 - (2)2013年度事業目標(案)
3. 「推進チャネル・推進体制の再編整備と新たな事業推進展開」に向けた「全労済徳島県本部ビジョン(案)」について
4. 経営委員選任結果について

勤労者福祉ネットワーク

あわーず徳島 (徳島市勤労者福祉サービスセンター事業)

中小企業を元気に人材育成セミナーを県下4会場で実施し、福利厚生的重要性にも触れながら講演を行った。

1.「企業の発展、人材の確保・育成と福利厚生の連動性」について

①平成25年7月17日(水) 13:30~15:30

徳島県鳴門合同庁舎(大会議室)

参加者 37名

講師 経営コンサルタント 白川健一氏

猛暑の中、鳴門地区を中心にたくさんの経営者・人事担当者の参加があった。

企業の発展に関しては、「戦略として差別化を図る視点を持つ、時代観を持ちマーケティングの強化をすること」等の内容の濃い有意義なセミナーでした。参加した経営者からは、「固定観念を取り払って考える大切さを学んだ」との声があげられた。



②平成25年7月18日(木) 13:30~15:30

徳島県南部総合県民局阿南庁舎(大会議室)

参加者 26名

講師 中小企業診断士 長尾辰彦氏

阿南会場も、猛暑の中たくさんの経営者・人事担当者の参加があった。

福利厚生の定義、社員の望む福利厚生等をワークポイントでの説明で始まり、社内間でのコ

中小企業サポート事業

ミュニケーションについて話され、参加者からは、「コミュニケーションが、日常の業務において重要であることを再認識することが出来、非常に有意義なセミナーであった。」との感想。



③平成25年7月24日(水) 13:30~15:30

徳島県西部総合県民局美馬庁舎(大会議室)

参加者 25名

講師 経営コンサルタント 白川健一氏

県西部地区の美馬会場は、あわーず徳島会員事業所が少ないにも関わらず、たくさんの経営者・人事担当者の参加があった。

参加者から「人材育成セミナーに来てよかった。」との声が多く聞かれた。

④平成25年7月25日(水) 13:30~15:30

徳島県吉野川合同庁舎(101会議室)

参加者 25名

講師 中小企業診断士 長尾辰彦氏

連日の猛暑の中、吉野川会場もたくさんの方の参加があった。

阿南会場同様、「ゲーム形式の中で、情報を正確に伝える方法、チームワーク・協力の大切さを学んだ」「全員参加型のセミナーで非常に良かった」との声が多くあげられた。

お気軽にお問合せください
 (独)勤労者退職金共済機構
 中小企業退職金共済事業本部
 ☎(03)六九〇七-二三三四(代)
 FAX(03)五九五五-八二二一

国の制度だから
安心・確実!
 ●新規加入や掛金月額を増額する場合、掛金の一部を国が助成します。
 ●掛金は全額非課税で、手数料もかかりません。
外部積立型だから管理が簡単!
 ●従業員ごとの納付状況や退職金試算額を事業主にお知らせします。
 ◎パートさんもお加入いただけます
 ◎適格退職年金制度からの移行先です。

詳しくはホームページをご覧ください

中退共

検索

ご存じですか?
「中退共」の退職金制度なら、掛金に国の助成が受けられます。

地域労働者福祉協議会の活動

徳島中央ライフサポートセンター

健康講座『リラクゼーション・ヨガ』報告

＊と き 2013年6月9日(日)

10:30～11:30

＊ところ ふれあい健康館1Fホール

＊参加者 35人

＊講 師 阿部ひとみさん



6月9日(日)
10時30分よりふ
れあい健康館一
階ホールにおい
て健康講座「リ
ラクゼーション・ヨ

ガ」を開催した。

徳島中央ライフサポートセンター板東所長の、「多くの方にお集まりいただきありがとうございます。日頃の運動不足やストレスを解消し明日への活力としてください。」と主催者代表あいさつの後、阿部講師のやさしい指導のもと、ヨガが始まった。

様々なポーズで体の歪みを修正し、ゆっくりとした腹式呼吸でリラックス!リラックス! 一時間余りの時間ではあったが、参加者全員ストレス解消し心も体もすっきりした。

「妖怪アベノミクスの正体」

浜矩子同志社大学教授の講演から

＊と き 2013年6月10日(月)

15:30～17:00

＊ところ ホテルクレメント徳島3F

＊参加者 約150人

＊講 師 浜矩子同志社大学教授

＊演 題 「妖怪アベノミクスの正体」

主催者を代表して中央地協森本議長が「為替や株が乱降下するアベノミクスは信用ができない。ぜひ解明していただきたい」と挨拶し、浜教授の講演が始まった。

妖怪アベノミクスとは、

1. 時代錯誤の成長至上主義である。

今政治に求められるのは、経済成長一辺倒でなく、成長から生まれた「富の分配」の大きなしくみを創り「貧困や格差問題」に正面から取り組む事です。

2. 円安は神風か? 輸出立国主義の時代遅れである。

「輸出立国ニッポン」の観念に囚われた円安待望論は「円安」を神風のように喜んでいる。しかし、日本の生産体制は、グローバル化しており、アベノミクスの円安神風論(円が安ければよい。)は通用する時代ではなくなっている。

3. 「通貨の番人」がバブル製造装置になり賃金デフレは深刻化!

「質的・量的金融緩和」による2%のインフレ目標、企業の生産コストは上がり、賃金デフレ(引き下げ)はかえって深刻化することになりかねない。「資産バブル」の一方で、「実態デフレ」の同時進行という恐ろしい現象が日本で起きる可能性が高まっている。

行き着く先は、国債の暴落と金利の暴騰という見たくない現実です。

4. 成長戦略の矢は「市場に振り回される」

ゆきすぎた市場との対話は「市場との一蓮托生の関係」になる可能性がある。市場が出来ない事、弱者等を支えるためにこそ、政策という装置が市場の外に準備されている。

5. 生活防衛と投機の危うさ

日本の円安が続けば、自国の通貨の切り下げ競争(1930年代)を生じて為替戦争に突入する心配(教訓)がある。その役割を日本がやろうとしている。

浜教授の講演からアベノミクスの負の部分の多くを知った。円安・株高と浮かれていては最後に泣きを見る。危機に備えた対策を常に考え、行動する必要があると感じた。



徳島西部ライフサポートセンター

～第14回夏休みフェスティバル開催～

7月28日(日)10時より三好市池田町州津 鮎苦谷川にて、徳島西部ライフサポートセンターの最大のイベントである「第14回夏休みフェスティバル」を開催しました。

朝大雨が降ったため開催できるのだろうかと不安に思いましたが、開会1時間前には雨もやみ太陽も見え始め無事に開催することができました。今年は総勢659名の方々に参加していただきました。

暑い中、昨年より多くの子どもさんたちが参加し、アメゴのつかみ取りや川遊びを楽しんでいました。アメゴのつかみ取りは年齢順に行うのですが、一巡してから再度挑戦する子供たちも多くいて、今年もアメゴは一匹も残らず皆さんに持ち帰っていただきました。後日、今まで魚に触ったことのないお子さんが「すごく楽しかった!」と話していたと聞き、またその捕った魚を保護者の方が炭で焼き、いつもは魚を食べないのに「美味しい!」



と言って食べていたというお話を伺い、主催者側としても大変嬉しく思いました。

また、今回も昨年同様に1～3歳児用にアメゴつかみ取り体験と称し、陸上のテント下に準備したタライにアメゴを入れつかみ取りを体験してもらいました。小さいお子さんも保護者の皆さんと共にアメゴに触り、水遊びを楽しんでいる様子は「親子・家族のスキンシップを高めてもらう」という所期の目標に添えたのではないかと思います。

そして、参加者の方々が楽しみにしているラッキー抽選会では、今年は子どもたちも楽しめる景品を沢山準備しました。また、四国交通株式会社から社長賞として阪急三番街への高速バス往復券(8000円相当)を今年もご提供していただきました。ありがとうございました。抽選会場

の前には多くの子供たちが集まり、呼ばれる番号に耳を傾け一喜一憂している姿がありました。今年も大盛況で幕を閉じました。

前日・当日と二日間に渡り準備・運営に携わっていただいたスタッフの皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。



徳島南部ライフサポートセンター

就労支援各種講座始まる!!

徳島県立南部テクノスクールから公益社団法人徳島県労働者福祉協議会が委託を受けた職業訓練(介護初任者研修科1)が6月5日より3ヶ月に渡り、阿南市羽ノ浦町の阿南市勤労女性センターを会場に始まりました。

この講座のお世話役として、徳島南部ライフサポートセンターが担当します。

本講座の最終目的は、受講生15名全員の再就職にあり、日頃現場で働いている講師陣と協力しながら受講される皆様方全員が厳しい就職戦線を勝ち抜くための知識・技能を取得されるようにフォローアップして参ります。

そして、同時期に徳島南部ライフサポートセンターを会場に「独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構(ポリテクセンター)」より徳島県労働者福祉協議会に委託された「介護職員初任者研修科」が6月24日開講され、3ヶ月間資格取得に向け16名の方々が受講されています。

今年度後半も就労支援講座が予定されており、徳島南部ライフサポートセンター2人体制で業務の大部分を講座事業に関わることとなりますが、地域内勤労者の就職支援のため皆さんの協力を得ながら取り組んで参ります。

Rろうきん



秋です。趣味に勉強、意欲あふれる季節です。どう使うか、どう育てるか？
ろうきんはお金を活かすさまざまなプランで、みなさまをバックアップいたします。きっといいことあるね！

いいことあるね！

ろうきんイメージモデル 高垣麗子

ZENROSAL NEWS
3613S006

30th Anniversary 世代を超えて、安心をつなぐ。
こくみん共済

今日、「まさか」
について考えよう。

全労済 徳島県本部
(徳島県共済生活協同組合)

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

30周年を迎えました。
おかげさまで、
こくみん共済は、



発行 公益社団法人

徳島県労働者福祉協議会

徳島市昭和町3丁目35-1 (わーくびあ徳島 内)
TEL (088) 625-8387・FAX (088) 625-5113
URL <http://www.tokushima-rofuku.net/>
e-mail tokushima@rofuku.net

編集・発行人 小松義明
印刷者 (有)フォトプリント白石